

会 議 録

会議の名称	第5回 杵築市行政改革推進委員会
開催日時	平成29年11月28日（火曜日） 午前10時00分から午前10時45分
開催場所	杵築市役所本庁舎 2階 第2会議室
議 題	別紙資料のとおり
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
議事 (1) アクションプランの報告書について (2) その他	
審 議 内 容	
(総務課長あいさつ) (欠席者報告) 〇〇委員が仕事の都合により欠席。 (委員長あいさつ) ○委員長：皆さん、おはようございます。この委員会も早いものでもう第5回目ということで、予定では今日が最終の委員会ということになります。 内容としては、アクションプランの報告書について最終確認をして、その後、私が今日は皆様方を代表して市長に事業評価報告書とアクションプランの報告書について、内容を説明しながら報告をしたいと考えていますのでよろしくお願いします。	

○総務課長：ありがとうございました。

それでは配付の資料の確認をします。ワンペーパーの次第、平成29年度事業評価報告書、平成28年度実績行政改革アクションプラン（後期プラン）報告書（案）を配布しています。事業報告書については、前回の会議で確定しましたので、今回配布のものが完成版となります。以上です。この行革のアクションプランは、今回で終わりです。

それでは、次第3、議事です。次第3については、進行を関谷委員長にお願いします。

○委員長：今日は行政改革アクションプランの報告書（案）です。最終的な確認をして、この（案）を取った形で市長に報告をしたいと考えています。

まずは、前回の委員会で積み残し、意見の提出があったものについて事務局に説明をお願いします。

○総務係長：前回の委員会での指摘事項と委員さんからのメールで意見書の提出がありました。今からアクションプランの評価等について検討していただきたいと思います。

まず、前回の委員会での指摘による変更個所が1個所あります。取組番号7「コンビニ収納」についてです。限りなくAに近いBの評価ということで、内容を見ると、高齢者医療については取組をしていないからというところでBにしています。それで、進捗状況に後期高齢者医療の取組をしていない旨を加筆しています。

次は、取組番号15「人事評価制度の導入」と取組番号17「職員提案制度の活用」については、次の四カ年計画にどう盛り込むかが課題であるとのことがありました。次のアクションプランに同様の項目がありますので、引き続き確認していきたいと思います。

○委員長：皆さん、良いですか。

○総務係長：取組番号26「市民活動に対する支援機能の充実」に

については、「テーマ型」の申請がないのは内容・制度に問題があるのではないかとのご意見がありました。こちら、次のアクションプランに同様の項目がありますので、引き続き確認していきたいと思います。

○委員長：2年連続で申請がないというのは、実態に即してないかもしれませんね。

○総務係長：平成28年度実績行政改革アクションプラン（後期プラン）報告書（案）の3ページをご覧ください。

取組番号26「市民活動に対する支援の充実」は、数値目標12団体のうち自由型に5団体しか申請がなく、テーマ型は2年続けて申請がない。申請がないということは、内容、制度に問題があるのではないか。

取組番号15「人事評価制度の導入」は、現在、導入して評価しているが給与等に反映されていない。職員の研修等も含めて、次期計画にどう盛り込むかである。

取組番号17「職員提案制度の活用」は、事業提案制度、事業改善提案制度の見直しが必要である。

取組番号7「コンビニ収納の推進」は、目標利用率を達成しているが、後期高齢者保険料の導入が出来なかったので評価はAに近いBである。

取組番号29「アウトソーシング（外部委託等）の推進」は、評価Aではなく評価Cではないか。

というご意見をのせています。

なお、次のアクションプランに同様の項目がありますが、引き続き確認していくとともに、評価については、ご議論をお願いします。

○委員長：健康推進館（プール管理）の外部委託を検討したが、委託まで至っていないので評価Aではなくて評価Cではないか、とい

うことですね。評価Cが妥当であるかということですね。評価Aのままではおかしいですね。

○総務係長：あわせて確認にしていだきたいのが、報告書です。取組番号29「アウトソーシング（外部委託等）の推進」については、「健康推進館（プール管理）の外部委託を検討したが、委託までは至っていないので評価Cが妥当である。」でよろしいでしょうか？

○委員長：評価Cにしましょう。このままで良いでしょう。

○総務係長：取組番号31「公の施設の指定管理者制度による管理運営の推進」については、「現在、指定管理をしていない施設についても対象とならないかの洗い出しが必要ではないか。」との意見がありました。なお、次のアクションプランに同様の項目がありますので、引き続き確認していきたいと思います。

○委員長：報告書には記載されていませんが、こういう意見があったということですね。

○総務係長：取組番号32「健全な財政運営」については、実態が赤字の中での評価Aについて、違和感があるという意見がありました。これについては、議論をしていきたいと思います。

○委員長：これは、結局、財政調整基金を取崩してやっていますからね。だから、評価Aにはちょっと違和感がありますという事ですね。実質的には赤字じゃないのということですね。どうしますかね？

○総務係長：評価Aはそのまま、違和感がありますということですかね。

○委員長：数字的には全部クリアしているので評価Aで良いですが、違和感がありますという我々の意見ですね。評価を変えなくても良いかもしれない。

○委員：一番大事なことは、実力がないということですよね。

○委員長：他市も同じようなところがありますね。

○総務課長：制度として財政調整基金というのがあって、赤字の補填等の時に使いなさいという地方自治法の基金です。今、時代的な流れで市役所は単式簿記から複式簿記へ、固定資産台帳整備の動き等があり、赤字の指標は実質単年度収支等があり、決算上で報告をします。今の制度の中では、それでして行かざるを得ないということなのです。ご理解をいただきたいと思います。

○総務係長：取組番号３５「市立幼稚園の見直し」については、評価Ａではなく評価Ｂではないかという意見がありました。こちらについても、ご議論をお願いします。

○委員長：これについては、市立幼稚園の今後の適正配置について具体的な検討が出来なかった。だから、評価Ｂにしておいたほうがいいのではないかということです。

○総務課長：評価Ｂだと思います。

○委員長：目標未達成です。

○総務係長：報告書の表現について検討、確認していただきたいと思います。

○委員長：「評価Ｂが妥当である。」に変えてください。

○総務係長：次に、取組番号３６「ケーブルテレビ事業の管理・運営方法の見直し」については、「基本方針などが無い。方針の作成が必要ではないか。また、評価Ａではなく評価Ｂではないか。」という意見が出ました。

○委員長：評価Ｂが妥当と考えます。報告書の表現も「評価Ｂが妥当である。」と変えて下さい。

○総務係長：次に、取組番号１「本庁支所方式への移行」です。

○委員長：これは、前から言っている取組ですね。もう、辞めてしまうのではなくて、引き続きやるべき取組ですね。

○総務係長：実際、この取組は残っていますので、今後も引き続き検

討していくことになります。

○委員長：よろしいですね。

○総務係長：次に、取組番号6「入札制度の改革」については、「他市町村の状況、県の動向、社会情勢等を考慮して現状の評価Bであるが、杵築市だけでも改革を進めていくことも考えられるのではないか。」という意見が出ました。

○委員長：行政の場合は、なかなか難しいことです。民間の場合は、「他がやっていないことをやれ。」ですが、行政は、「他にどのような事例があるか。」が問われます。これが、行政と民間の違うところですかね。

○総務係長：この意見を報告書に付すということで良いですかね。

○委員長：はい、結構です。

○総務係長：次に、取組番号9「定員適正化の推進」は、報告書のとおりでよろしいでしょうか。

次に、取組番号25「景観保全の推進」も、報告書のとおりでよろしいでしょうか。

○委員長：特に、湯布院の事例があるので、早め早めに保全措置を講じていかないと、気がついたときには遅かったということになります。

○総務係長：追加ですが、次期アクションプランに削除された取組項目があります。企業誘致等の基本的に当然行われる取組項目は、次期アクションプランの中にありません。行政改革の取組項目として、行政改革委員さんに審議していただく取組項目ではないという意味で削除されました。それらの取組項目は復活させないで、このまま、現状の次期アクションプランの項目でやっていこうとの決断に至りましたので、ここはご理解いただきたいと思います。

追加した項目もあります。債権は税務課しかなかったのですが、市役所全部、全課の債権をあげていただきました。

こういった形でやっていこうと思っていますのでよろしくお願いします。

後は、報告書の残りの部分を、読み上げて提案してもよろしいでしょうか？

〔 報告書を読み上げて提案 〕

〔 修正 〕

○委員長：「アクションプランの数値目標」の達成状況が明確でないとの問題点が指摘されています。

○総務係長：行政改革アクションプランの 6 ページをご覧ください。

「行政改革アクションプラン（後期プラン）の数値目標は、個別項目の取り組みにより、歳入の確保と歳出の削減による効果額を 4 億円とする。」と書かれています。

しかし、行政改革アクションプラン（後期プラン）は、個別項目ごとの削減効果がありましたが、その積み上げ額が実際のところありません。財政課にも確認したのですが、なかなか難しいとのこととで数字がありません。

○委員長：これは、アクションプラン全体に通じての問題ですね。

○総務係長：数値が出ないような、機構改革等の取組項目もあります。

○委員長：6 ページに数値目標 4 億円と書いているので、目標を書く以上は、それがどうあったというのは出てこないと悪いですね。

○総務課長：この行革プランを作った平成 24 年の時に、4 億円の根拠を試算していると思います。

○委員長：数値目標の達成状況が出ない場合は、この 4 億円というのはあまり書かない方が良いでしょうね。

○総務課長：人件費削減率等で試算しないと 4 億円とか 3 億円とかの数字は出ませんので、試算していると思います。

○委員長：次の時に、気をつけるようにしてください。

次に、取組項目の進捗状況が分からない点です。民間では考えられないことです。

○委員：数値目標は、概算でも良いと思います。民間は割と概算をよく使います。

○委員長：「4億円は、過去6年間の（実質収支－合併算定替影響額）の平均から算出した額であり、基金を取崩すことなく、安定した財政運営が出来ることになります。」と書いてありますね。

個別に積み上げてないので、4億円に対してどれぐらい実現したか分からないですね。

内容的には、建設的なものが良いですね。数字で把握出来るものだけを出したほうが良いですね。次は、気をつけてください。

○委員長：いくつか修正がありました。事務局で修正していただいて、（案）を取った報告書で、私の方から、11時30分から市長に報告、説明をさせていただいて、それで終わりにしたいと思います。ただ、会議はこれで終わりですけど、任期は年度末までとなっています。

○総務課長：また急に何かありましたら、お願いしたいと思います。

○委員長：全般的に見た場合に、特に市町村を見ていますが、大分県の市町村の中でも沿岸部の特に杵築市、国東市あたりは、風光明媚である、観光資源もある、豊かな農林水産物もあります。やはり、行政がこれから頑張っていただいて、過疎化時代をどう生き残っていくか市長の手腕が問われる時代にいよいよなってきました。しっかり、課長はじめ皆さんが市長を支えていただいて、持続性のある杵築市になってもらいたいなあという感じがしております。非常に事務局の方も、指摘した内容について、資料の改定、追加資料についても迅速に対応していただきまして、非常に分かり易いものになっていたという感じはしております。大変ご協力いただきまし

てありがとうございました。

○総務課長：それでは、以上をもちまして第5回目の杵築市行政改革推進委員会を終わります。慎重審議、大変ありがとうございました。